

## ● 診療科の特色

糖尿病治療アルゴリズムは低血糖リスクを減らし、体重増加を来さない治療薬の登場によって近年飛躍的に進歩し大きく変化しています。一方、超高齢化社会に突入した日本においてサルコペニア、フレイル、認知症といった新たな社会問題が生じ、予防、治療への対策が急務な課題として取り上げられています。

上記課題に関して、当科では糖尿病・脂質代謝、高血圧症を中心とした生活習慣病領域全般にわたって、外来および入院診療に取り組んでいます。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士など多くのスタッフが一体となって協力・連携し、患者様のセルフケアをサポートする「チーム医療」に力を入れて取り組んでいます。

具体的には持続血糖測定 (CGM : continuous glucose monitoring)、FGM (flash glucose monitoring)、パーソナル CGM 機能を搭載したインスリンポンプ療法 (SAP: sensor augmented pump) などを積極的に導入し、低血糖予防、1 日血糖変動推移の見える化を図ることによって、患者様が安心・納得して最新の医療を受けて頂けるよう努めています。

さらに、グルコースクランプやインピーダンス法・DEXA 法による体組成計測検査器機を用いてインスリン感受性・抵抗性の評価を行い、グルカゴン負荷試験、食事負荷試験を用いて内因性インスリン分泌能の評価、握力、歩行速度、開眼片足立ち時間の計測によるフレイル、サルコペニアの評価、DASC-8、MMSE を用いて認知・生活機能、高齢者の血糖コントロール目標設定のためのカテゴリ分類を評価することによって患者様個々の病態に即して可能なかぎり適切な治療を行っています。

フットケア外来では、皮膚科、形成外科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科とフットケアユニットを形成し、足切断ハイリスク患者の予防的ケアから潰瘍治療まで行っています。

2017 年 10 月より、当科で甲状腺・内分泌疾患の診療も開始しており、今年度はおよそ 470 名の診療にあたっています。甲状腺疾患としてバセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、亜急性甲状腺炎、甲状腺腫瘍などの診療を行っております。甲状腺超音波検査は年間約 290 例を自科で施行しています。超音波ガイド下の穿刺細胞診も施行可能です。

バセドウ病の治療には内服療法・手術療法・アイソトープ療法があります。当科では内服療法のほかにアイソトープ治療も対応可能です。手術療法の適応となる患者様については乳腺・甲状腺外科に院内紹介し連携で治療を行っています。患者様ひとりひとりに最適と思われる方法を提案しています。

ほか、下垂体疾患(下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症など)、副甲状腺疾患(原発性副甲状腺機能亢進症・低下症など)、副腎疾患(原発性アルドステロン症、副腎性クッシング症候群、褐色細胞腫など)をはじめとした内分泌疾患全般にわたり診療しています。原発性アルドステロン症精査に必要な副腎静脈サンプリングは放射線科と連携して行っています。

低血糖症の診療においては糖代謝の観点と内分泌の観点からの病態把握・鑑別診断が必要です。当科では各種負荷試験や画像検査を行い、インスリンノーマなどが疑われる場合には放射線科と連携で ASVS (選択的カルシウム動注後肝静脈サンプリング) を施行し精査を行っています。

常時 10~15 名/日の糖尿病教育入院患者がいますが、外科手術の周術期管理や妊娠管理を要するハイリスク他科入院患者の管理も月 80~100 名とかなりの症例数を誇っており、糖尿病学会認定教育施設として豊富な症例を経験でき、質・量ともに充実した研修を行う事ができます。また学会発表、論文投稿も積極的に行っています。

## ● 入院診療実績

### 1. 主要入院患者数

新入院患者数 293 人

	疾患	患者数
1	2 型糖尿病	188
2	1 型糖尿病(うち緩徐進行 1 型 23 名)	29
3	膵性糖尿病	0
4	糖尿病性腎症	11
5	糖尿病性ケトアシドーシス	2
6	高浸透圧性糖尿病性昏睡	9
7	低血糖症	7
8	その他	47

なお「8 その他」には、

甲状腺・内分泌疾患として、低ナトリウム血症 5 名、バセドウ病・甲状腺機能亢進症 4 名(うち甲状腺クリーゼ 1 名)、原発性アルドステロン症 2 名、低カリウム血症 2 名、ACTH 単独欠損症 1 名、下垂体機能低下症 1 名、プランマー病 1 名、良性副腎皮質腫瘍 1 名を含む。また、糖尿病性ケトアシドーシス 17 名、シックデイ 4 名、ステロイド糖尿病 2 名、妊娠糖尿病 1 名、アルコール離脱せん妄 1 名、インスリン自己免疫症候群 1 名、ヘルペス脳炎 1 名、細菌性肺炎 1 名、ほか 1 名を含む。

### 2. 教育入院関連諸実績

自己注射指導	合計	153
	うち新規導入	20
自己血糖測定指導	合計	126
	うち新規導入	18
糖尿病教室参加	カンバセーションマップ参加	165
	バイキング参加	189
CSII	のべ入院 CSII 患者	15
	うち新規導入	2
	うち SAP 導入	5
持続血糖モニター装着	のべ装着	28
	うち SAP 導入	5

3. フットケア外来実績: 入院 3 名、外来 42 名、計 45 名

4. バセドウ病に対するアイソトープ治療(<sup>131</sup>I 内照射)実績: 入院 1 名、外来 8 名、計 9 名

## ● 研究業績

### 1. 論文発表

1) 1 型糖尿病、慢性甲状腺炎、原発性胆汁性胆管炎を同時診断し得た多腺性自己免疫症候群 (APS)3 型の一例  
渡邊聡子, 武田昌也, 須藤梨沙, 天田雅文, 松下裕一, 伊勢田泉, 肥田和之

2020 年 3 月 30 日

## 2. 学会、研究会

1) 糖尿病性単神経障害との識別を要した、脳低動脈の圧迫による左外転神経麻痺の一例

石井 貴大

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 6 日

2) 試薬間におけるコレステロール値の差異を直接測定法にて比較検討したホモ CETP 欠損症の 1 例

肥田 和之

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 7 日

3) 副腎不全と反応性低血糖による空腹時低血糖症の一例

大井 祐貴子

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第 57 回総会

2019 年 12 月 7 日

## 3. 講演

1) 医療統計を正しく解き解す！ 糖尿病治療のツボとドツボは紙一重

肥田 和之

都窪医師会学術講演会

2019 年 5 月 21 日

2) 高齢化に負けるな！ 健康寿命:ツボとドツボは紙一重

肥田 和之

第 27 回血糖自己測定の日

2019 年 6 月 1 日

3) 基礎から学ぶ脂質異常症の勘所 日常診療に潜む脂質異常症:診断・治療の解体新書

肥田 和之

Kowa Web カンファレンス

2019 年 6 月 10 日

4) HypoGlycemic Attackのエッセンス！ ～低血糖に秘める裏側を科学する～

肥田和之

Insulin Expert Seminar in OKAYAMA

2019 年 6 月 14 日

5) 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて 健康寿命のツボとドツボは紙一重

肥田和之

松永沼隈地区医師会学術講演会

2019 年 6 月 21 日

6) 高齢者糖尿病治療に 1 条の光を求めて 健康寿命のツボとドツボは紙一重

肥田 和之

御津医師会学術講演会

2019年6月28日

7) 高齢者糖尿病治療に1条の光を求めて 健康寿命のエッセンス:ツボとドツボは紙一重

肥田 和之

木田地区医師会学術講演会

2019年7月16日

8) 「超高齢社会のエッセンス！」～高齢者糖尿病治療:ツボとドツボは紙一重～

肥田 和之

岡山糖尿病 Total Care Web Seminar 2019

2019年7月25日

9) 糖尿病と高尿酸血症 もっと早く知っておけばよかった尿酸のエッセンス

肥田 和之

赤磐医師会学術講演会

2019年7月26日

10) 「高齢者糖尿病治療の勘所～どうする！超を超えた日本超高齢化社会～」

肥田 和之

第16回 備前・和気代謝疾患臨床懇話会

2019年7月29日

11) ”思い込みを正しく解き解す！” 高齢者糖尿病治療に1条の光を求めて

肥田 和之

糖尿病治療の最前線

2019年8月1日

12) 超高齢社会のエッセンス 高齢者糖尿病の治療:備えあれば憂いなし

肥田 和之

Diabetes Web Seminar

2019年9月3日

13) 「超高齢社会を迎え撃つ先制医療」

肥田 和之

鯖江市医師会勉強会

2019年10月10日

14) 超高齢社会を迎え撃つ先制医療！ 高齢者糖尿病治療の勘所

肥田 和之

第4回 4H医療カンファレンス

2019年10月18日

15) 脂質異常症

肥田 和之

岡山県医師会認定かかりつけ医研修会

2019年10月20日

16) ”思い込みを正しく解き解す！” 理論で迎え撃つ糖尿病の実臨床

肥田 和之

TAISHO Medical Forum in 高梁

2019年10月24日

17) ヒト糖尿病性腎症(糸球体硬化症)の予防を目指す研究 感受性遺伝子の同定と生活環境因子の影響

肥田 和之

第73回国立病院総合医学会

2019年11月9日

18) 糖尿病治療の変曲点 曲がり角のCutting edge

肥田 和之

T2DM Forum in Okayama

2019年11月13日

19) 糖尿病治療の事始 インクレチン&メトホルミン相互作用の解体新書

肥田 和之

DiaMond Seminar in 岡山

2019年11月22日

20) 超高齢社会突入: 予防しよう動脈硬化 糖尿病は甘くない

肥田 和之

生活習慣病のことがよく分かるお話

2019年11月23日

21) 超高齢社会を迎え撃つ健康寿命の重要性!

肥田 和之

吉備中央町愛育委員会全体研修会

2019年12月1日

22) 糖尿病治療の変曲点 曲がり角のcutting edge

肥田 和之

医師のキャリアアップ研究会

2019年12月7日

23) 地域医療構想を踏まえた糖尿病診療 糖尿病治療の変曲点

肥田 和之

第17回備前・和気代謝疾患臨床懇話会

2019年12月17日